

# 事業計画がまとまらない！

メンバーに何をやるか説明したいのですが、事業計画がうまくまとまりません。事業計画を立てるとききのポイントを教えてください。



## 全員が全体の流れを共有するプロセスデザイン

数回に分けて事業を行うような場合、各回事業プログラムの「何を、どのように」という説明だけでなく、全体の事業の流れ（プロセス）を説明します。

最終的な達成目標（成果）は何か、各回のプログラムが全体の流れの中でどのような役割を果たしているのか等々について、道のりをおおまかにでも示すこと（プロセスデザイン）で、参加者全員に理解してもらおうことができればよい。

【知っ得10の4】

## 各回の事業進行プログラム

各回の事業進行プログラムは、限られた場所や時間という条件のもとで、事前に現場確認し、スタッフの

確保、当日の天候などを配慮して作成します。

プログラムの内容によって、参加者の満足度にも大きく影響するので、時間配分や休憩のとり方にも細かな配慮が必要です。



## スタッフの配置、役割を分かりやすく

スケジュール表と体になった役割分担表があれば便利です。スタッフ全員が全体を把握できると都合がよいのでガンバツてつくりましょう。また責任者を明確にしておくこと、問題が発生した場合の対応がスムーズになるといって得点もあります。

【知っ得5】

## 定期的な報告

計画の進行状況を、会のメンバーに定期的に報告することも重要です。この場合、必要に応じて随時修正する柔軟性が大切だと思います。

## 会を元気にするため こんなことしてます 早稲田学区 社会福祉協議会



早稲田学区社会福祉協議会は、牛田学区社会福祉協議会から分離するという最初の時期に、組織作りに工夫をしています。

それまで、それぞれが独自の活動をしていた各団体を、社協の構成団体に組み込み、各団体代表を社協理事としています。

また、毎月の定例会が、地域の情報源となっています。まちづくりの視点で言えば、行政から降りてくるもの、自分たちで企画したもの…これを「がんばってやりんさい!」という人もいれば、「まあやってみようやあ!」と思う人がいます。実践するひとたちは「これも何かの運のつき!」と知恵を寄せ合って動き始めます。まさしくまちづくりの中心は《ひと》なのです。

まちで活動する時、集まるのは同じ顔…という金太郎飴状態は、社協の「まちづくりプラン」策定の時も大きな課題として挙げられています。

新しい「顔」を探すには地域の多彩な活動の中から「1本釣り」する方法しかなく、なかなか自分から針にかかってくる人は少ないのです。

しかし、「運のつき」と思って始めてみると「人のためは、自分磨き」というささやかなボランティア精神に灯がともるのか、楽しく参加されるようになってきます。十人十色いろんな《人》が町の宝、元気の元となっています。

【弁当11】

# ヒト集めに悩んでます！

元気のある市民グループを  
見ていると本当に  
多くの人が集まっています。  
どうしたら、多くの人が参加する  
活動になるのでしょうか？



## 友達の友達はみんな友達

困った時は、友達の友達にだって協  
力してもらいましょう。そのためには  
日頃から人間関係を積み重ね、ネッ  
トワークを作っておくことが大切で  
す。

経験者が将来の市民活動の担い手  
になる可能性もあります。

そのほか最近、多くの大学が導入  
しているボランティア単位認定制度  
の普及も学生の参画、交流に有効で  
す。

## 学生の参加

地域の高校、大学の学生にボラン  
ティア参加を呼びかけてみましょう。  
秋祭りのみこしの担ぎ手として  
お願いしたら、その後は、学園祭で町  
内会による餅つきを行うなど交流が  
続いている事例もあります。

また、インターシッピング(体験研修)

による学生の参加という方式もあり  
ます。学、民の連携で学生の市民活  
動参加プログラムを企画し、学生の  
社会参加機会を提供するのも手で  
しょう。一過性のイベント参加と異な  
り、学校の授業の一環として、定期間  
実施というものです。インターシッ

## 他団体と交流

他団体と協力して人材を確保し  
合うという方法もあります。例え  
ば、音楽会でお母さん方に託児協力  
してもらったら、子供たちのクリスマス  
会に出向いて行って音楽を披露す  
るといったような、もちつもたれつ  
の関係作りです。

## 町内会は人材の宝庫

町内には色々な人が住んでいま  
す。工務店、銀行員、。職業だけで  
なく、趣味で、絵が得意、楽器が得意  
という人も。身近に思いがけない人  
がいて、難問が解決できることだって  
あります。

公務員の中にも、市民という立場  
で活動している人が多くいます。議  
事録や書類の作成は、仕事柄慣れて  
いますし、制度や施策など、市民に  
とって縁遠い存在である行政の情報  
などについても詳しいので、公務員に  
声をかけてみましょう。

「案外面白いね」と言われ  
ば、中心スタッフとして育つ可能性  
が高くなります。テーマ型の市民活  
動団体でも条件は同じはず。秘訣  
は責任ある仕事を任せたり、仲間  
として付き合うこと。決してお客  
さん扱いをしないことがコツかし  
れません。

## ボランティア参加者の満足 度をUPさせる

市民活動と二時的なボランティア  
は不可避の関係にあります。でも  
「便利な働き手」としていません  
か？

ボランティア参加者の満足度(事  
後評価)は、担い手の育成にもつな  
がる重要な目安です。

ボランティアの満足度を高めるに  
は、事業の企画時点から参加して  
もらい、主体的な役割を担ってもら  
うことも有効でしょう。将来の担い

市民活動の三大要素としていわれ  
るのが、ヒト・モノ・カネです。活動  
を支える重要な資源として欠かせ  
ない要素ですが、「何をするために、  
何が、どのくらいほしいか」は明確に  
なっているでしょうか？ 今度、立  
ち止まって考えてみることも大切で  
す。

ちよつとボランティアしてくれる  
人達、レンタル品、助成金など、必要  
の申しにに応じて、その効率的な調達  
方法を考えてみましょう。また、日  
頃から、少しでも有益な情報の収集  
に努めるとともに、「こんなものがほ  
しい」というメッセージを周りに送り  
続けることも有効でしょう。

## ヒトを集め、生かすには？ 成功体験がポイント

地縁型組織(町内会等)では、「順  
番だから仕方ない」という、いやいや  
参加のスタンプがあります。こうした人



### 人材バンクの活用

各種講師や手品音楽等の実演者が必要な時は、まちづくり市民交流プラザのまちづくりボランティア人材バンク、マツダスベシヤリストバンク、エネルギアボランティア人材バンク等を活用すると便利です。

登録された人材から希望するスキルの持ち主を探し、人材バンクに連絡し派遣してもらいうことができません。無償であつても交通費や実費負担等の費用は必要なので、派遣を依頼する時に確認しましょう。

【知っ得16】

### 企業の社会貢献活動

企業においても「社会的責任」という考え方が意識されるようになってきます。ボランティアバンク（人材派遣）のほか、企業市民（企業も「市民」という考え方）としてサンフレッチェや、広島交響楽団等への大きな支援もあります。市民活動への助成金、社員による清掃活動等もあります。

また福祉活動支援では、用地や施設、機材や物品などの提供も行われ

ています。自分たちの活動目的・内容に共感してくれそうな企業があれば、声をかけてみるのも手です。

### 人材を供給して組織を残す

とある「おやじの会」の事例。当初、校長とPTA会長の発案で有志で「おやじの会」を設立しました。

継続性を確保するため、後に、PTAの中に父親委員会を組織し、各学級から委員が出てくるという方式をとっている学校があります。

こうすることにより、一過性ではなく恒常的に男性を確保していくことを目指しました。

また、「広島市PTA協議会父親委員会（市P協）」と「広島市おやじの会連絡会」（おやじ連）の関係では、先に市P協に父親委員会をつくり、別にOBを含めたメンバーがおやじ連をつくりました。

これにより、恒常的な組織である「父親委員会」から、目ぼしい「卒業生」が「おやじ連」に移っていきます。

人材を継続して供給し、組織を残していく効果が期待できる方法です。



## 会を元気にするため こんなことしてます 草津まちづくりの会

草津まちづくりの会では、毎月第二火曜日に例会を持っています。マンネリにならないようにいろいろな行事などを反省し、次の企画などを考えています。年々高齢化していくので、公民館と共催で、草津歴史研修会などを開催し、新メンバーの勧誘などもしています。

従って様々な履歴を持っているメンバーが揃っています。元金融関係、企業関係、IT産業関係、元教員、元デザイン設計士など様々です。現役の大学生、現役の大学准教授、市役所関係の職員、一級建築士もいます。その中から、IT博物館という発想も生まれ、源流探検、笹舟レース、昔懐かし写真展・絵画展、酒蔵コンサート、舞楽雅楽演奏会、除夜の鐘ラリーの行事も生まれました。

もちろんガイドも、一時間コース、二時間コース、鏝絵コース、草津城址に登る健脚コースなどバラエティに富んでいます。ガイドの人数を増やすために、ガイド研修講座も公民館と共催で開き、ガイド養成もしています。

この度も、夏のイベントが定着したので、冬のイベントも開催しようと、公民館と共同で、草津の特徴であるカキ、かまぼこを中心に、「来て・見て・食べて!『草津うまいもん市場』」を企画しました。これは地元の産業を巻き込んで地元の活性化を図ろうという試みです。

というふうに、いろんな企画を一応どんどん出してみよう、出来るか出来ないかは話し合えばいいということで、遠慮せずそれぞれの得意の領域から発案します。それをマイナスの視点から見るのでなく、出来るだけ実現してみようという意欲で話し合う、そのことが大事なのではないかと思っています。 【弁当6】



# 機材がなくなってしまうイベントが開けません！

野外イベントを計画していますが、音響装置やイベント用の椅子、机がなくなってしまう。皆さんはどうやって機材を調達されているのでしょうか？



動に対する保険もあります(民間保険)。  
【知得17】

たしかにイベントのみならず、日々の活動における鉛筆一本からどいうするかという悩みは発生します。多くの場合、世話役のヒトが持ちより、なんとかこなしているのでしょうが、大きなもの、特殊なものになるとそうはいきません。そこで、ヒト・モノ・カネのうち、モノの調達方法のヒントを紹介しましょう。



## 機材の寄付がある

企業では、移転や改築等の場合に処分する機材(机、イス、ロッカー、パソコン等)が出る場合があります。そ

んなときに、譲り受けるという手があります。

こうした場合、特定の団体への寄付でなく、より多くの市民活動団体に門戸を開くため、民間の中間支援組織を通じて寄付する方法をとっている場合が多いので要注意です。

こうした情報も、中間支援団体(ひろしまNPOセンター【弁当15】等)と、日頃からつながりを持って、情報網を張り巡らしていないと、たまに出てくるお得情報の入手は難しいですから、ご注意。

## 機材を借りる

まちづくり市民交流プラザ(拡声器、プロジェクター等)、社会福祉協議会(車椅子等)から借りられるものがあります。地域の公民館、学校等に相談してみる方法もありま

すよ。

ただし、ここでも日頃から「どこに、どんなものがあるのか」という観察と信頼関係を構築しておくことが大切です。

## 機材のレンタル

野外イベントでの発電機や屋台販売の機材などは、購入するよりも専門業者のレンタルの方が便利で安い場合があります。食材と機材をセットで調達すれば、便利で経費も格安になることがあるので色々と調べてみましょう。

## 返品がきく

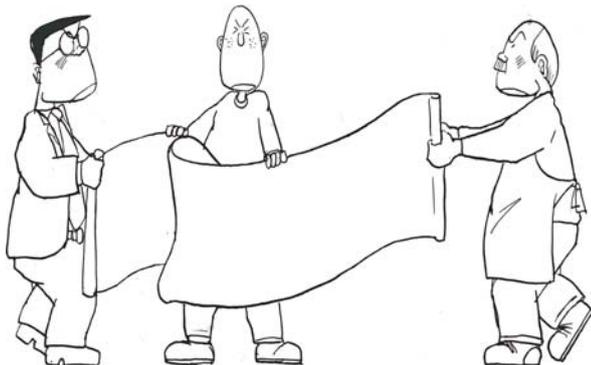
イベント等で飲み物類を販売する場合、当日の天候や人出予想が外れると、商品の不足や売れ残りが悩みの種です。

## 商店があれば便利

また借用品が高価な物の場合には、紛失や損傷した場合の補償等を考えた総合保険加入等の検討も必要だと思えます。その他、自治会活

## 保険で万一に備える

イベントを行う上において忘れてはならないのが「保険」です。そんなとき便利なのは広島市市民活動保険(加入手続き・保険料不要)ですが、これは運動会や祭などの参加者は補償の対象にならない(スタッフのみ)ので、必要に応じて、他の保険(社協、民間保険)の加入を考えましょう。



# お金がなくなっていくイベントができませせん！

活動が大きくなるにつれ、経費がかさんで、事業を実施することが難しくなっています。これまででは寄付収入などにたよってきましたが、安定的に確保するのが難しく、事業をつづけるのが困難になっています。どうすれば良いでしょうか？



かせない要素です。

## フリマで稼ぐ

寄付金より物品の方が集まりやすい団体活動もあります。これを活用して、賛同者からフリーマーケット用の販売品の寄贈を受け、フリマで販売し、その売上金を収入にする団体もあります。

## 身の丈にあった活動と資金

息の長い活動を続けるには、安定収入である会費や寄付金で運営するという考えがよいと思います。一時的な助成金で活動を膨らませると、金の切れ目が縁の切れ目になり、団体の死活にまで発展することがあるので要注意です。

## 寄付の特典として記念品を用意

横川駅前整備を契機に、日本初の国産乗合バスを復元した「レトロバス復元の会」(現広島かよこバス活用委員会)ではバス復元経費として企業などに寄付を呼びかけました。

企業が組織的に決裁しやすいように、事業計画・依頼文を用意し、また税務上の扱いも寄付ではなく広告という申出も多いことから、様々な広告媒体(横断幕・看板・レトロバス新聞公式記録集)を用意しました。協賛と協賛広告など金額設定やそれに対する特典など、複数の選択肢を用意したことが、多くの資金を集める鍵となりました。

個人からの寄付には、記念品(レトロバスチョロQ)も用意しました。また、トヨタ財団、広島県子ども夢基金、国土交通省などの公的助成制

度への応募も行いました。

信用を得るために、資金の使い方は特に明確になるよう、厳密な収納方法、支払い手続きを取り入れ、不正が起こりにくい仕組みにしました。

また、監査役には本職の税理士さんに就任していただき1年ごとに予算決算という形で取りまとめたものを監査してもらいました。

こうして復元の会は、最終的に2千万円近い資金を協賛という形で集めることができました。



多くの市民活動団体に、共通するのが、活動資金の調達に関する悩みです。そもそも資金じゃないとの気概で始まるケースが多く、活動資金については「二の次」ということが多いからかもしれません。

でも、現実の問題として活動のための資金というのは必要です。ここでは、その手立てのいくつかを、紹介しましょう。

## 会費収入を増やす

会費収入を活動の基盤としている団体は多いと思います。なにしろ安定した収入源として計画作りの基盤になります。



この会員増強は活動の活性化にも寄与するので、活動資金確保の面だけでなく、組織維持のためには欠

## 助成金の獲得

最近、助成団体へ応募し、助成金を獲得する方法が広く知られるようになりまし。助成対象はほとんどが分野別でプロジェクト助成であるため、会の運営費用に充当することができません。個別の事業ごとに、それに適した助成申請をすることになります。

助成金の獲得は企画内容が一番であることは言うまでもありませんが、申請書の書き方にも左右されます。また活動実績も評価の対象になるので、日頃から意識的に記録(写真、マスコミ記事等)を残しておくことが大切です。

なお助成金の場合、必ず報告書(決算書)の提出を求められるので、記録の保存やまとめを忘れないようにしましょう。【知の得5 18 19】

## 助成金の性格と獲得のポイント

先にも述べましたが通常の団体運営経費には充当できないものが多い、また事業年度が1年限りの場合がほとんどです。

助成金の獲得には、次の3点がポイントとなります。

イントとなります。熱意も大切ですが実践力も問われます。そこも忘れずにアピールしましょう。

### ① 企画内容(目的狙い)

### ② 実施方法

### ③ 成果(波及効果)

例えば、「公益信託広島市まちづくり活動支援基金愛称ひとまち広島未来づくりファンドHm(ふむふむ)」では、審査のポイントとして

### ◎ 将来性

### ◎ 先駆性や獨創性

### ◎ 計画の実現性

### ◎ 予算内容の妥当性

などが挙げられています。こういった審査ポイントを意識しながら、申請書を点検してみましよう。

「公益信託広島市まちづくり活動支援基金Hm(ふむふむ)」では、公開審査を行っています。会場に出向き、他の団体のアピールを参考にすることも良いと思います。【知の得19】

## 事業化を考える

自分たちの活動の一部を事業化して、その収益で活動を充実させたり、持続可能な社会貢献活動をすることを考えましよう。

簡単なことではないですが、やりがいがあります。共感者を増やして、自分たちの活動に必要な費用は、自分たちで生み出す(寄付、会費、事業化)ことがやはり基本だと考えます。

## NPO活動支援融資制度

広島市内に拠点を置くNPO法人であれば、運転資金・設備資金の低利融資が受けられる制度を利用できます。【知の得22】

## 【NPOとNPO法人について】

NPO(Non Profit Organization)とは、ボランティア活動などの社会貢献活動を行う、営利を目的としない団体の総称です。

一方、NPO法人は、特定非営利活動促進法に基づき法人格が付与された特定非営利活動法人を指します。

法人格を取得することによって、NPOの名前で契約したり、財産を所有することが出来ます。

銀行の口座の開設、不動産の登記などをNPOとして行うことが出来るようになります。

また、委託事業などをNPOとして受託できることから、事業の幅広い展開も可能となります。

らば理解が得られやすいこともあるでしょう。団体の継続性、事業能力、信用づくりなどに法人格が強い味方となります。

ただし、毎事業年度終了後、事業報告書等を県(2都道府県以上に事務所がある場合は内閣府)に提出しなければいけませんし、役員に変更があった場合などには、届出や申請が必要となります。税金を納めなくてはならない場合もあります。

また、法人の管理・運営のルールとして守らなくてはならないもの(NPO法、定款など)もあります。

NPO法人化は、こうしメリット・デメリットを見極めながら、活動の目標や内容の変化に応じて検討します。【知の得11】



# 広報紙を作る上での心得を教えてください！

人が集まらない講座がキャッチコピー一つで行列のできる人気講座に大変身という話を聞きました。私たちも自分達の活動を多くの人に知ってもらい、社会的認知度を高めようと願っています。どうもうまくいきません。よきアドバイザーをお願いします。



読んでもらえる広報紙とは？

活動を多くの人に知ってもらうためには、いくつかの手法があります。最も一般的なのはチラシではないでしょうか。そこでチラシづくりのポイントをご紹介します。

①伝えたい情報(要点)が、まず目に飛び込む②イラストや表があると理解しやすい③色の使い方、文字の大きさをで読みやすくなる④読ませる、見せる、魅せるの演出⑤レイアウトでイメージを演出する。

「読む」よりは「見る」方が、2倍の情報量が伝わるといわれています。とりわけ、棚に積み置かれるチラシは、まず人の視覚に訴えないと読んでもらえないと思うください。多くを伝えるようにすると、何を伝えたいのか焦点がぼけてくるので要注意です。文章にイラストや図解を入れると、読み手の右脳と左脳をうまく刺激し、読み手に無理なく理

解してもらうことができます。

## イラスト・写真の挿入は効果的

文字だけで読み手の気を引くことは難しいですが、写真やイラストが1枚でも入れば効果は抜群にアップします。

またラスコミ等で取り上げられた紙面の切り抜き記事等を掲載すれば、信頼性の向上にもつながります。(この場合、許可が必要になる場合もありますので注意してください。)

また、ここに知っている人の顔や地域が出ていれば、読者の話題性も上昇するので活用したいポイントです。

インターネット上の無料イラストなどを活用してみるのも面白い方法かもしれませんね。

キャッチコピーで気を引く

誰でも、まず視覚に飛び込むのは大見出し(キャッチコピー)や写真です。次に小見出し、そして、そこで興味をわくと「もっと詳しく文章を読もう」ということになりま

## ポスター掲示はゴミ置き場が穴場

ポスターはゴミ置き場(団地等で設置されている場合)に掲示してあるとよく見ているものです。ただし町内会、マンション管理組合等の了承を得た上でのご話となることは、もちろんですね。

## 手配りルートを活用

公民館や区役所等の公共機関へのポスター、チラシの配布は、情報量が多すぎて意外に効果が薄いものです。地域のお店や知人に配つてもらうと少ない枚数でも効果的だと

思います。

## ハイテクとローテクの併用

ホームページによる情報発信は、掲示板やブログ等で双方向通信が可能になりますが、よい管理者がいないと面倒なこともあります。

イベント等のPRでは、チラシやポスター等の印刷物の方がより多くの読者に伝えることができる場合があります。

また知り合いに配付してもらうと、信用と口コミがついて回るので、より効果的になるので可能な限り活用しましょう。

## 地縁団体とうまく付き合う

町内会、自治会、地区社協等の地縁組織を通じて、回覧方式でチラシ等を配付してもらう方法もありますが、回覧方式は時間がかかることや読み手が主に主婦になるので、若

者等を対象にしたPRでは効果が薄いという欠点があります。ポスター掲示は、地域の掲示板に貼ってもらうことができれば効果的でしょう。

## リーフレットは団体の顔、チラシは手足

色んな機会に速やかに配付できるよう、自分達の団体を紹介する資料をあらかじめ作成しておくことが、簡潔かつ魅力的に、発足経緯、夢、活動実績等をまとめておくことによります。

リーフレット(団体紹介資料)は団体の顔でもあります。またリーフレットに入会申込書や会費納入用紙を添付しましょう。会員獲得の道具として活用できますよ。

チラシや会報誌は、団体紹介の手足であり、状況に応じてタイムリーに発行できるので、リーフレットに添える活動紹介にもなりPR効果は高くなります。

【知っ得48】

# 新聞やテレビで紹介されるには？

知り合いの、まちづくりグループは再三テレビや新聞で活動を紹介されています。私たちも同じような活動をしているのですが一度も取り上げられませんでした。どうすればマスコミに取り上げてもらえるのでしょうか？



## マスコミへの資料提供

当たり前のことですが、取り上げてもらうには、まずマスコミの人に知ってもらわなければなりません。タイムリーで簡潔に目的(売りの部分)を明確にした文書をマスコミに送ってみましょう。

その際、個別に送る方法もありますが、県庁、市役所等には、マスコミ各社の記者クラブがあり、そこにはマスコミ各社用の棚があります。ここでは行政の情報だけでなく市民活動団体の情報も受け付けていますので、利用しましょう。

その際、あらかじめ県庁や市役所の記者クラブに、提供方法や資料は何部必要かなどを問合せをお忘れなく。  
【知っ得13 14】

## 記者と知り合いになる

記者も多くの情報を求めています。何気ない話から記事になるとい



うこともよくあります。そのためには、記者との日ごろの付き合いが重要です。取材された場合は、その後も記者とできるだけコンタクトを取っておくようにしましょう。他団体の情報でも面白い情報を提供すれば喜ばれることがあります。

## 穴場は地元のミニコミ紙

地域を限定し無料配布しているミニコミ紙を利用するのも手です。ミニコミ紙は地域に密着した情報は大歓迎であり、参加者募集等では効果抜群ですよ。

## メディアの効用

新聞や雑誌に取り上げられると社会的信用力がアップします。パブリシティ(マスコミに話題を提供し、ニュースとして取り上げてもらうこと)は費用がかからないし、会員のモチベーションがぐんと上がるので大切にしましょう。

## マスコミとは

### 自然体で付き合う

マスコミだからと構えず、おもねず。マスコミ(記者)には素直に自分たちの思いを伝えるようにしましょう。

う。

話題性が乏しいと、なかなか取り上げてもらえないかもしれません。多くの会員が集まる交流の集いに記者を招待することも一つの方法ではないでしょうか。

## マスコミに取り上げられやすい活動とは

マスコミは、他にはない試みや社会貢献性の強い話題についてはよく取り上げてくれます。子ども中心の話題についても関心を寄せてくれます。

マスコミが好む活動をすることが目標ではないですが、既存の活動もちよつとした工夫次第で、話題を呼ぶこともあります。市社会福祉協議会や区社会福祉協議会の事務局には新聞のスクラップがあるので、企画の参考にすると良いかもしれません。

## ■想いを伝えてプロの参画を

雁木組はプロ集団。雁木タクシーの安全運転も、プロ意識を持つボランティアスタッフのサポートに支えられています。広報もしかり。雁木組のデザインは、主旨と活動を十分に理解するプロに一任しています。

「おあそび」につきあってくれるほど仕事人は暇ではないので、無償のデザイン提供は絶妙な緊張感をもたらし、ご恩は結果で返そうと、こちらの気持ちりが引き締まります。こうした緊張関係の中で制作される雁木タクシーの宣伝媒体は、いつも高い評価をいただいています(なにせ、プロが作っているのですから)。

広報に限らず、プロから「協力しましょう」の言葉もらうには、いかに想いを伝え、活動に賛同してもらうかが鍵となります。【弁当5】

会を元気にするため  
こんなことしてます  
NPO法人雁木組  
その1

# ネットで活動をアピールしたい!

ネット社会といわれて久しいですが  
私たちも遅ればせながら

HPで活動を紹介したいと考えています  
どんな点に注意すればよいでしょうか?



## インターネットも使い方次第?

ホームページ作成ソフトを使えば  
案外簡単です。そんなに難しくないので  
自分で作ってみましょう。参考本  
もたくさん出ています。

まちづくりボランティア人材バンク  
に登録されている人や公民館でIT  
ボランティアを紹介してもらって  
協力してもらおうという方法もあり  
ます。

だれかに作成を頼む場合でも、ホ  
ームページ作成に関心のある人に管  
理者をお願いしましょう。こまめに  
ホームページを更新していないと、ホ  
ームページを見てくれる人が減って  
しまいます。ホームページは開設す  
ることよりも、更新し続けるほうが  
大変なのかもしれません。

公民館やまちづくり市民交流プ  
ラザでホームページ作成講座が開講  
されることがあるので参加してみる  
のも手です。

## インターネット費用は意外に高い?

ホームページには、無料でインタ  
ーネット上に公開できるサイトも  
あるため、インターネット環境があ  
れば、それほどコストはかからない  
かもしれません。

しかし、インターネット環境その  
ものコストや場合によっては、プロ  
バイダー料が必要であり、それには  
予算的な裏付けを検討しておく必  
要があるかもしれません。



## サイトの活用

既存サイト(ひろしま情報ネット  
ト、広島市社会福祉協議会ボランテ  
ィア情報センター、財団法人広島平  
和文化センターなど)を活用してイ  
ベントや会員募集等をアピールする  
方法もあります。【知っ得15の1】  
なお、サイトではないですが、まち  
づくり市民交流プラザ主催のフェス  
タ(毎年5月ころ開催)に参加して  
自分たちの活動を市民にアピール  
してみるのも手です。

【知っ得20の2】

## 「こむねつとひろしま」を活用

町内会、自治会の場合は、広島市  
が運用している「こむねつとひろし  
ま」を利用すると、ホームページの作  
成作業や経費面で利点がありま  
す。

【知っ得15の2】

## 会を元気にするため こんなことしてます NPO法人雁木組 その2



### ■全国紙への情報発信を

活動がマスメディアによって後押しされることがあります。まちづくりを主眼とするNPOとしては、地域の賛同を得ることは必須であり、その意味で地元地方紙の記事掲載やテレビ放映は、大きな支援となり感謝につきません。けれども、ときには全国区の評価による逆輸入も大切です。

雁木組では、歴史的な雁木を本来の船着場として使いながら残すために、雁木の歴史性調査を実施しています。調査2年目の夏、全国紙への雁木タクシー記事掲載が専門家の目にとまり、翌年には「選奨土木遺産」(社団法人土木学会)の選定にいたりました。この外部評価によるお墨つきのおかげで地元でも雁木が再び注目を浴びることとなり、活動に拍車がかかっています。

### ■マスメディア関係者には、本質を理解してもらう努力を

(恐れ多くも)水辺の文化をつくるという気概をもった雁木組が、営利目的の水の上タクシー業との違いを伝えるには、影響力の大きい新聞記者や番組制作者の理解を深める努力を怠ってはならないのです。よくあるやりとりですが、旅番組の取材の折、「全国放送で宣伝になるのだから」と無料乗船を主張する取材班に対し、その都度「営利目的ではないからこそ」と乗船料を頂戴することになっています。メディアに迎合することなく毅然と主張を伝えないと、テレビの前で悲しい思いをすることも。タダで感謝されるのはあたり前。料金をいただいて満足していただくのは、タイヘンなことなのです。